

都が「ヘルプマーク」作成
配慮が必要な人向けに

東京都は10月26日、内部障害者や難病患者、義足・人工関節使用者、初期の妊婦など外見からは援助や配慮の必要性が分からない人のための「ヘルプマーク」（右図：マークの色は赤）を作成した。

都営地下鉄などを利用する際に周囲の乗客の配慮と援助を促すことが狙いで、大江戸線の優先席にステッカーを表示するほか、同線の各駅務室でストラップを配布する。

都は来年度以降、都営地下鉄の他線への導入も検討しており、「マークを持っている人の優先席利用に理解と協力をお願いしたい」としている。

（福祉新聞・第2598号 2012年11月12日）

